

## おわりに

名古屋大学には、早くから、数々の外国人教師がやって来ました。語学ばかりでなく、医学や商業学、体育の教師もいました。外国の進んだ学術や技芸、制度を教授するという期待にこたえてくれた人たちです。そのうち、ヨングハンスとローレッツの二人は、本学の歴史が始まってまもないころ、文明開化の時代に対応して、あたらしい医学人材を養成するために活躍しました。そのさい、かれらをとおして、かれらの母国との交流と関係が進展していることが注目されます。かれらは、本学の国際交流を拓いた人たちなのでした。

国際交流といえば、ちょうどいま、本学では、海外の多くの大学とのあいだで学術交流の推進を図ることが企画されています。国際フォーラムを定期的に開催することのほかに、教職員や学生の交流の活性化、「研究成果や学術情報の共有化の促進、教育プログラムや学術授与プログラムの開発に関する連携の促進」が構想されています。グローバルイニシアティブが進展するなか、教育・研究活動を一段と活性化し、国際社会・地域社会へ積極的に貢献しようというものです。

国際社会・地域社会への貢献を志向するというのですが、そうした貢献をとおして逆に、本の教育・研究のあり方の見直しと充実にも生かしたいものです。

明治時代、外国人教師が日本側の求めに応じて各種の活動をなすさい、かれらの念頭には母国の教育モデルがありました。とうぜん、東西文化の葛藤が繰りかえされるなかでの活動でしたが、かれらは、わが国でのそうした活動体験と教育実験の成果をもち帰り、母国での教育改革に参画してその成果を生かしたのでした。国際的な貢献と連携は、わが身の反省と成果の糧ともなるものなのです。

## 主要参考文献

- 石井榮三編『愛知県公立病院及医学校第一報告 自明治六年至同十三年』（編輯局、一八八〇）
- 富士川 游「石黒先生昔年医談（承前）」『中外医事新報』三三五号（一八九四年三月五日）
- 福沢桃介『桃介は斯くの如し』（星文館、一九一三）
- 『愛知県立医学専門学校校友会雑誌』第三四号・新築開校記念号（愛知医学専門学校々友会、一九一四）
- 中野禮四郎編著『鍋島直正公伝』第六編（候爵鍋島家編纂所、一九二〇）
- 慶応義塾編『福沢諭吉全集』一七卷・一八卷（岩波書店、一九六一）
- 青井東平編『名古屋大学医学部九十年史』（名古屋大学医学部学友会、一九六一）
- E・W・クラーク（飯田宏訳）『日本滞在記』（講談社、一九六七）
- 飯尾一路『瑞穂丘物語』（八高創立60年記念事業実行委員会、一九六八）
- 『名古屋大学文学部二十年の歩み』（名古屋大学文学部、一九六八）
- 梅溪 昇『お雇い外国人①概説』（鹿島研究所出版会、一九六八）
- 中野 操『ヨングハンス覚書』『医譚』復刊四二号（一九七〇年十二月）
- 田中英夫「ある藩医の明治維新——中島三伯試論」『東海地区大学図書館協議会誌』二二二号（一九七六）
- G・ブスケ（野田良之・久野圭一郎訳）『ブスケ 日本見聞記』一（みすず書房、一九七七）
- 田中英夫「中島三伯試論——<sup>クワガレ</sup>晩昏再考」『東海地区大学図書館協議会誌』二七号（一九八二）
- 加藤詔士「ドクトル・ヨングハンス——福沢諭吉の息子たちの洋行時代の後見人」『三田評論』八六四号（一

九八五年一月)

三好信浩 『日本教育の開国、外国教師と近代日本』 (福村出版、一九八六)

名古屋大学史編集委員会編 『名古屋大学五十年史』 (名古屋大学、一九八九～一九九五)

名古屋大学史編集委員会編 『写真集 名古屋大学の歴史 1871～1991』 (名古屋大学、一九九一)

田中英夫 『御雇外国人ローレットと医学教育』 (名古屋大学出版会、一九九五)

『尾張から見た日本と世界の医学史 第二四回日本医学会総会「医学史展示」図録』 (第二四回日本医学会総会記念事業会、一九九八)

西川輝昭 「ローレットとマボヤ——ウイーン自然史博物館での標本調査によせて」名古屋大学博物館『NUM Newsletter』No.七 (二〇〇一年八月)

T. Nishikawa & H. Sattmann, 'List of Dr. Albrecht von Roretz's collection of Japanese animals made about 120 years ago, compiled from the catalogues of Naturhistorisches Museum Wien', 『名古屋大学博物館報告』一七号 (二〇〇一)

著者略歴

加藤 鉦治（詔士、かとう しょうじ）

一九四七年 愛知県生まれ

名古屋大学大学院教育学研究科修了

現在 名古屋大学教育学部・大学院教育

発達科学研究科 教授

専攻 教育史

名大史ブックレット<sup>5</sup>

名古屋大学最初の外国人教師

—— ヨングハンス先生とローレッツ先生 ——

二〇〇二年三月二十九日 第一刷発行

著者 加藤 鉦治

編集発行

名古屋大学大学史資料室

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

電話 〇五二（七八九）二〇四六

印刷所 株式会社 ク イ ッ ク ス

〒456-0004 名古屋市熱田区桜田町一九一〇〇

電話 〇五二（八七二）九一九〇





表紙表：愛知県病院手術図  
(名大附属図書館医学部分館蔵)

表紙裏：愛知県公立医学校  
(「写真集 名古屋大学の歴史1871～1991」所収)